

# 自分らしい服ってどんなの？

美術コース

## ファッション



講師 日下 訓志  
くさかわ さとし

### 略歴

ファッションデザイナー  
VITAMIN POWERS FACTORY  
代表。1985年京都産業大学卒業後、企業勤務を経て、日本ファッション学院入学。企業内デザイナーを経験の後、94年ブランド設立、ショップ開店。98年、大阪能楽会館での初コレクションを皮切りに、大阪コレクションを始め、韓国ソウル・テグコレクションにも招待参加し、専門家やメディアから高い評価を得る。専門学校講師、ファッションコンテスト審査員としても活躍。

### advice points

- 事前にファッション雑誌やテレビ等で、好みの服やコーディネートを探しておく。
- デザイン画の参考になる雑誌や写真を用意しておく。
- ファッションに関連する職業には、どんなものがあるかを考えてみる。

### より発展的なワークショップを実施するために

- 美術や歴史の授業で、民族衣装やファッションの歴史を学ぶ。
- 体育の授業で、美しい姿勢や歩き方を研究してみる。
- 目的・到達点、回数、生徒の習熟度等にあわせ、Tシャツをデザイン化する等のワークショップも可能。

### 目的

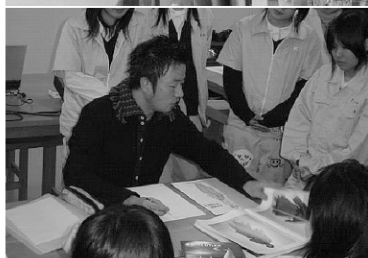
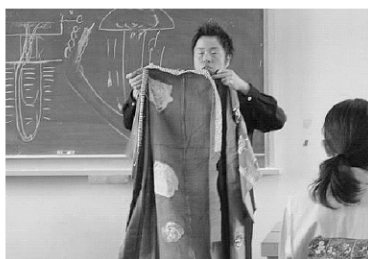
- ・ ファッションを切り口に、考え方や経験談、様々なアイデアについてコミュニケーションすることにより、将来の目標に対してのモチベーションを高める。

### 効果

- ・ 将来の夢を具体的に意識できるようになると同時に、技術的な学びによってアイデアの表現力が向上する。

### 到達点

- ・ 自己実現のためのヒントを見つけ、将来のビジョンを認識できる。



### 事前学習

浴衣のコーディネートを考える。「好きなファッション・着てみたい服」のスタイル画を制作する。

### ワークショップの流れ（2日間×2コマ/日）

講話「ファッションデザイナーへの道のり」

講師のソウルコレクションでのショーをビデオで鑑賞

自作の服の良さをアピールするショーの効果的な演出や歩き方等の指導

浴衣の新しいコーディネート演習と、浴衣ショーの歩き方の練習

「好きなファッション・着てみたい服」のデザインコンセプトを1人ずつ発表し、講評とアドバイス

同じテーマで別パターンのスタイル画制作実習

講師のスタイル画の実演を見た後、スタイル画制作実習  
デザインコンセプトをスタイル画にどう表現するか等について解説

総評と「自分らしさ」を表現するためのメッセージ

### 事後学習

文化祭で浴衣の独自コーディネートを披露する。

### …ワークショップを実施して…

#### 講師の感想

何から何まで教え込むのではなく、生徒の思考に少し道筋を示し、そこからそれぞれの表現の幅を広げていくことが重要だと考えている。今回、生徒たちが少しのヒントを素直に受け止め、デザインに向かう姿勢が特に印象に残った。通常の授業とは違う刺激を得ることで、自分自身のこと、将来のことを考えるきっかけになればと思う。

#### 先生の感想

生徒たちは、講師のデザイン画の実演に刺激を受け、自分たちも挑戦しようという気持ちを強くもち、アドバイスをもらったときは本当に嬉しそうだった。技術はもとより、民族衣装からヒントを得るなど、アイデアがどんどん湧いてくるといふ点に、生徒たちは興味をもったようだ。受講後の浴衣ショーでは、大半の生徒が新しい着こなしに挑戦していた。

#### 生徒の感想

- ・ デザイン画は難しいと思っていたが、「こんな服がいい」としっかり考えたら筆が勝手に動いていた。
- ・ 講師の一言で、色んなアイデアがいっぱい頭の中に浮かんできて、デザインを考えたり、描いたりするのがとても楽しく感じられた。
- ・ 想像力や発想力が身についたと思う。デザインは将来の夢にも役立つと感じた。